

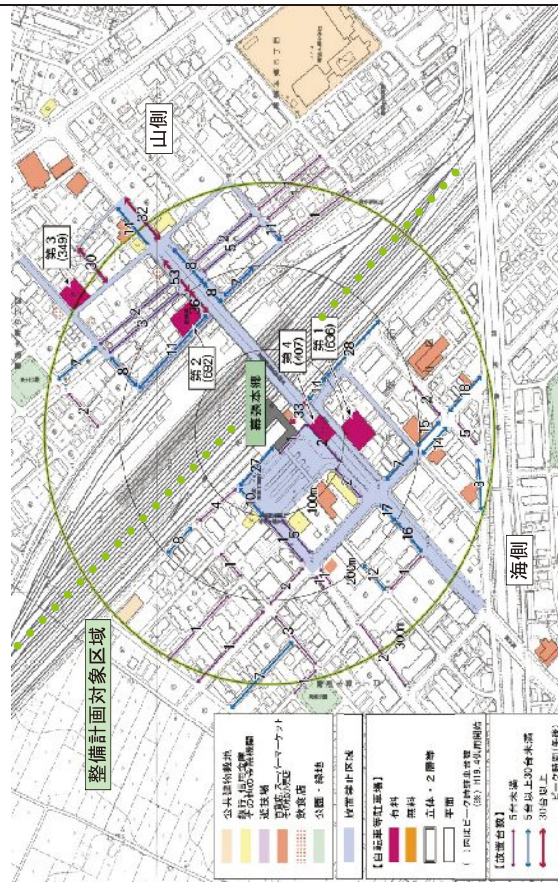
## 4-2 駅別駐輪場整備計画

幕張本郷駅	…	31	学園前駅	…	57
幕張駅	…	32	おゆみ野駅	…	58
新検見川駅	…	33	市役所前駅	…	59
稲毛駅	…	34	栄町駅	…	60
西千葉駅	…	35	県庁前駅	…	61
千葉駅	…	36	千葉公園駅	…	62
東千葉駅	…	37	作草部駅	…	63
都賀駅	…	38	天台駅	…	64
本千葉駅	…	39	穴川駅	…	65
蘇我駅	…	40	スポーツセンター駅	…	66
鎌取駅	…	41	動物公園駅	…	67
誉田駅	…	42	みつわ台駅	…	68
土気駅	…	43	桜木町駅	…	69
浜野駅	…	44	小倉台駅	…	70
海浜幕張駅	…	45	千城台北駅	…	71
検見川浜駅	…	46	千城台駅	…	72
稲毛海岸駅	…	47			
千葉みなと駅	…	48			
検見川駅	…	49			
京成稲毛駅	…	50			
みどり台駅	…	51			
西登戸駅	…	52			
新千葉駅	…	53			
千葉中央駅・葭川公園駅	…	54			
千葉寺駅	…	55			
大森台駅	…	56			

**幕張本郷駅**  
**【現状】**

幕張本郷駅は、1日平均乗車人員が計約3万1千人、自転車等の乗入台数は約2,600台である。駐輪場は海側に2箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は3,308台となっている。

駐輪台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数
測定日：平成18年10月30日	計	計	放置	台数
	2,596	2,084	512	3,308
	2,438	1,953	485	3,142
	158	131	27	166
	原付			



海側		山側		全体	
乗入台数	放置台数	乗入台数	放置台数	乗入台数	放置台数
計	1,043	1,283	1,041	2,596	2,084
自転車	963	1,222	990	2,438	1,953
原付	80	61	51	158	131

参考値		交通分担率	
駅利用	1日平均乗車人員(H17)	JR	京成
	25,498人/日	49.1%	30.9%
	5,963人/日	12.0%	7.7%

(H18千葉市統計書)  
(H10東京都圏内アンケート調査)

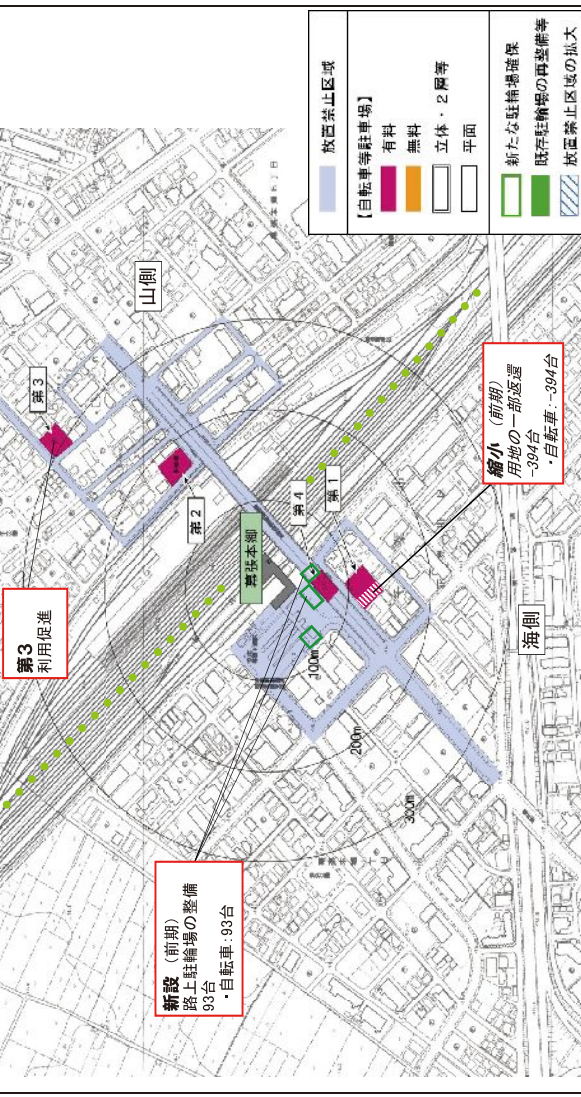
**【需要推計】**  
幕張本郷駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は2,705台と推計しており、駅全体としては収容台数の不足はないが、海側では第1駐輪場の用地を一部返還することに伴って394台分減少することから、収容台数の不足が見込まれている。

計画期間(H27)の伸び率		海側		山側		全体	
原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車
1.05	1.09	0.99	1.09	0.99	1.09	0.99	1.00

**【整備計画】**

海側では、駐輪場用地の縮小に伴い収容台数の不足が発生することから、路上駐輪場を新設して対応する。山側では、収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

整備計画図		全体		収容台数
計	原付	計	原付	台数
2,705	2,438	2,596	2,438	3,308
157	158	158	158	166



海側		山側		全体	
乗入台数	不足台数	乗入台数	不足台数	乗入台数	不足台数
計	1,313	1,283	1,393	2,705	1,695
自転車	1,216	1,613	1,332	2,548	1,625
原付	97	96	61	157	70

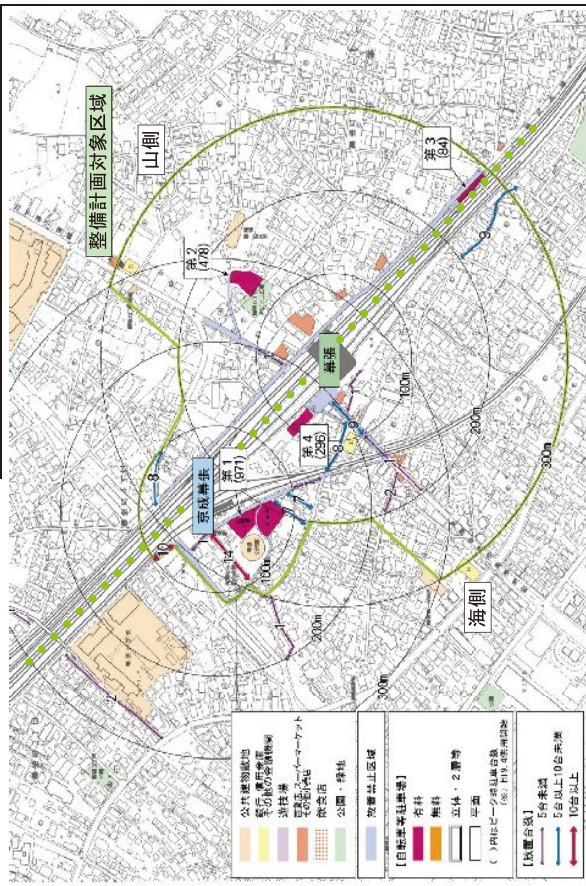
整備手法		整備時期		主体	
現況(原付)	整備(原付)	時期	用地	整備	運営
1,023	-394	一	国・市	市	市
590	(56)	二	市	市	市
93	(40)	二	市	市	市
93	(0)	前	市	市	市
1,613	(96)	前	市	市	市
895	(40)	一	民	市	市
800	(30)	二	民	市	市
1,695	(70)	一	民	市	市
3,308	(166)				
3,007	(30)				

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノール 民：個人または民間事業者  
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

JR総武本線・京成電鉄千葉線  
幕張駅  
(現・京)

幕張駅は、1日平均乗車人員が計約1万8千人、自転車等の乗入台数は約1,900台である。駐輪場は海側に2箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は2,180台となっている。

駐輪台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日	平成18年10月30日	駐車	放置	駐車	放置
計	1,892	1,829	63	2,180	2,180
自転車	1,807	1,748	59	2,070	2,070
原付	85	81	4	110	110



海側	乗入台数		山側		乗入台数	
	駐車	放置	駐車	放置	駐車	放置
計	1,321	1,267	54	1,500	571	562
自転車	1,299	1,248	51	1,470	508	500
原付	22	19	3	30	63	62

参考データ		交通分担率	
駅利用	1日平均乗車人員(H17)	徒歩	77.2%
JR	14,990人/日	自転車等	12.4%
京成	3,242人/日	バス	6.3%
	(H18千葉市統計書)	タクシー	0.2%
		その他	4.0%
		京成	89.0%
		JR	7.2%
		その他	4.0%

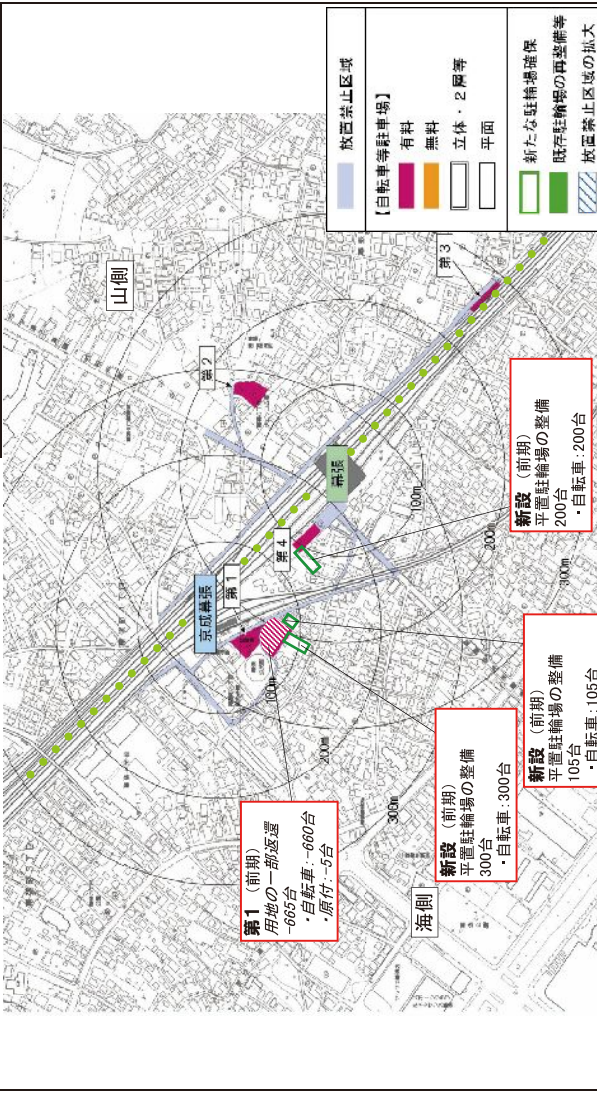
【需要推計】  
幕張駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は2,050台と推計しており、駅全体としては収容台数の不足はないが、海側では第1駐輪場の用地を一部返還することに伴って665台分減少することから、収容台数の不足を見込んでいます。

計画期間(H27)の伸び率		海側		山側		原付	
全体	自転車	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
1.08	1.06	1.09	1.09	1.07	1.05	1.07	1.05

【整備計画】

海側では、駐輪場用地の縮小に伴い収容台数の不足が発生することから、路上駐輪場を3箇所新設して対応する。山側では、収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
計	自転車	原付	計	自転車	原付	計	自転車	計	自転車	原付	計
1,892	1,807	85	1,892	1,807	85	1.08	1.06	2,050	1,960	90	2,070
1,807	1,748	59	1,807	1,748	59	1.08	1.06	1,960	1,960	90	2,070



海側	乗入台数		山側		乗入台数	
	駐車	放置	駐車	放置	駐車	放置
計	1,321	1,267	54	1,500	571	562
自転車	1,299	1,248	51	1,470	508	500
原付	22	19	3	30	63	62

整備内容		整備手法	
駅口駐輪場	整備(原付)	整備(原付)	計(原付)
海側	第1 現像縮小(前期に用地を一部返還予定)	1,200 (30)	-665 (-5)
	第4 (既設)	300 (0)	300 (0)
	新設	300 (0)	300 (0)
	新設	105 (0)	105 (0)
	新設	200 (0)	200 (0)
山側	計	1,500 (30)	-60 (-5)
	第2 (既設)	600 (70)	600 (70)
	第3 (既設)	80 (10)	80 (10)
計	680 (80)	0 (0)	680 (80)
駅口	計	2,180 (110)	-60 (-5)
	2,180 (110)	2,120 (105)	

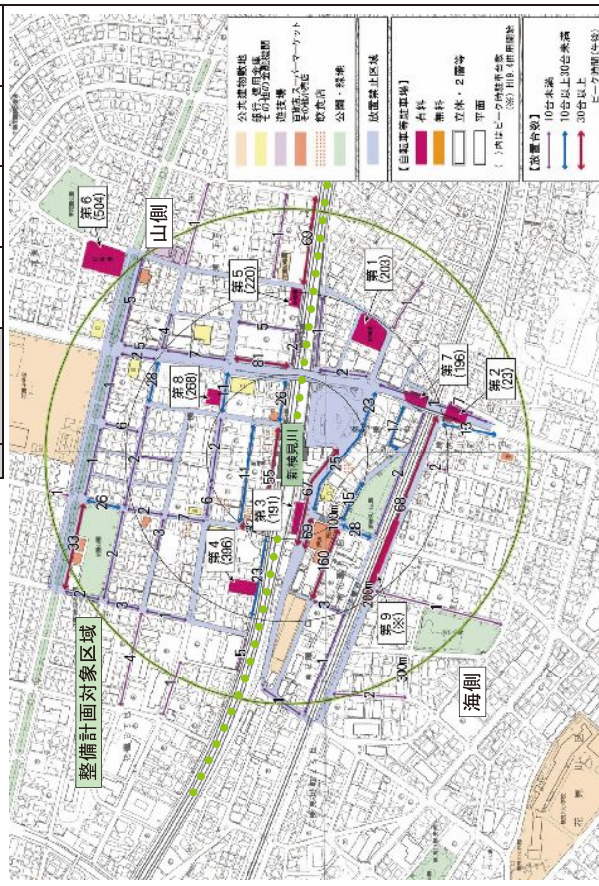
※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モジュール 民:個人または民間事業者  
※整備時期欄 前期:H20~22 中期:H23~25 後期:H26~27

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
計	自転車	原付	計	自転車	原付	計	自転車	計	自転車	原付	計
1,892	1,807	85	1,892	1,807	85	1.08	1.06	2,050	1,960	90	2,070
1,807	1,748	59	1,807	1,748	59	1.08	1.06	1,960	1,960	90	2,070

JR総武本線  
新検見川駅  
【概要】

新検見川駅は、1日平均乗車人員が約2万4千人、自転車等の乗入台数は約3,000台である。  
駐輪場は海側に5箇所、山側に4箇所設置しており、収容台数は3,577台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数		
測定日	平成18年10月30日	計	放置	計	放置	
図はピーク時の台数を示している。		3,002	2,001	1,001	3,577	
		自転車	2,547	1,639	908	3,021
		原付	455	362	93	556



海側	乗入台数		山側		乗入台数		
	駐車	放置	駐車	放置	計	その他	
計	1,122	613	509	1,598	1,880	492	1,979
自転車	884	415	469	1,224	1,663	439	1,749
原付	238	198	40	53	217	164	230

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	24,143人/日	交通分担率	徒歩	自転車等	バス	タクシー	その他
JR			JR	40.7%	14.4%	38.7%	1.1%	5.2%

(H18千葉市統計書)

【需要推計】

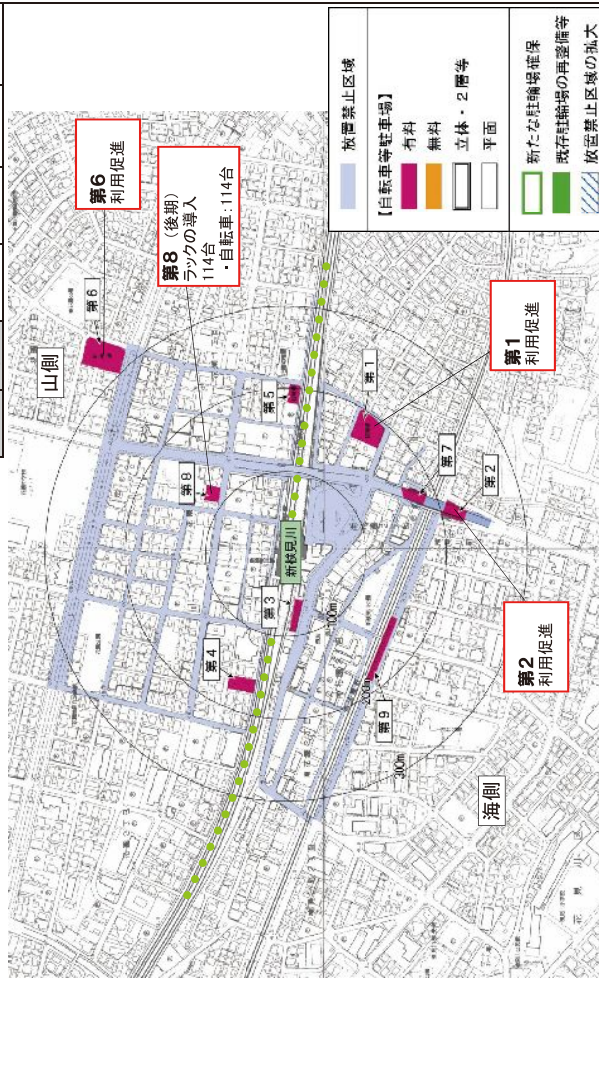
新検見川駅周辺は、土地区画整理事業で整備された市街地が広がり、駅海側の検見川・稲毛土地区画整理事業(事業中)をはじめ、住宅の開発が進む地域からの乗り入れが多い。計画目標年次(平成27年)の乗入台数は3,317台と推計しており、駅全体としては収容台数の不足はないが、駐輪場の配置が海側・山側とも山側に偏っていることから、駅から東京側で収容台数の不足が見込まれる。

計画期間(H27)の伸び率	全体		海側		山側	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.11	1.06	1.10	1.06	1.12	1.06

【整備計画】

海側では、収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。  
山側では、東京側からの自転車等の乗入れに対する収容台数の不足が見込まれることから、第8駐輪場にラックを導入して対応する。  
また、自転車等の放置の実態を踏まえて、放置禁止区域を拡大する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
計	自転車	計	3,002	計	3,317	計	3,577	計	3,317	計	3,577
	自転車	2,547	2,547	2,835	2,835	3,021	3,021				
	原付	455	455	482	482	556	556				



海側	乗入台数		山側		乗入台数		
	駐車	放置	駐車	放置	計	その他	
計	1,122	613	509	1,598	1,880	492	1,979
自転車	884	415	469	1,224	1,663	439	1,749
原付	238	198	40	53	217	164	230

◆整備内容

海側	乗入台数		山側		乗入台数		
	駐車	放置	駐車	放置	計	その他	
計	1,122	613	509	1,598	1,880	492	1,979
自転車	884	415	469	1,224	1,663	439	1,749
原付	238	198	40	53	217	164	230

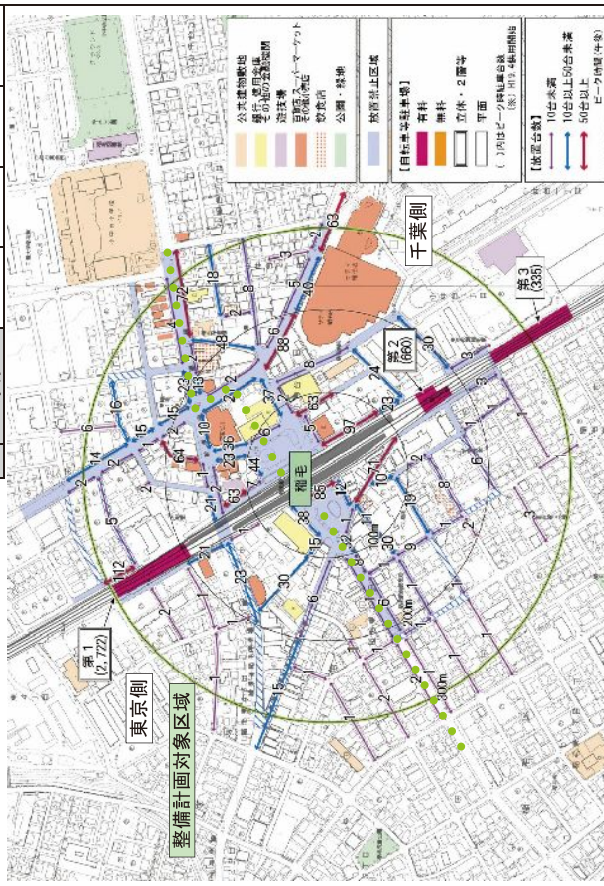
◆整備手法

駅	整備(原付)		計(原付)		整備	
	現況	追加	現況	追加	時期	主体
海側	780	(180)	780	(180)	—	市
第1	251	(31)	251	(31)	—	市
第2	266	(32)	266	(32)	—	市
第3	208	(58)	208	(58)	—	市
第4	93	(25)	93	(25)	—	市
計	1,598	(326)	1,598	(326)	—	市
山側	494	(44)	494	(44)	—	市
第5	197	(18)	197	(18)	—	民
第6	953	(133)	953	(133)	—	民
第8	335	(35)	335	(35)	後期	民
計	1,979	(330)	1,979	(330)	—	市
駅計	3,577	(556)	3,577	(556)	—	市

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノール 民：個人または民間事業者  
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26・27

稲毛駅は、1日平均乗車人員が約5万人、自転車等の乗入台数は5,424台と市内で2番目に多い。  
駐輪場は線路高架下に3箇所設置しており、収容台数は5,465台となっている。

駐輪台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日	平成18年10月30日	計	放置	計	放置
全体		5,424	3,719	1,705	5,465
計		5,424	3,719	1,705	5,465
自転車		4,428	2,855	1,573	4,510
原付		996	864	132	955



東京側		千葉側		全体	
乗入台数	駐輪台数	乗入台数	駐輪台数	乗入台数	駐輪台数
計	2,723	1,948	996	5,424	3,719
自転車	2,025	1,707	830	4,428	2,855
原付	698	241	166	996	864

駅利用状況		交通分担率		バス タクシー		その他	
JR	1日平均乗車人員(H17)	JR	43.0%	JR	38.0%	JR	2.1%
	49,323人/日						4.4%

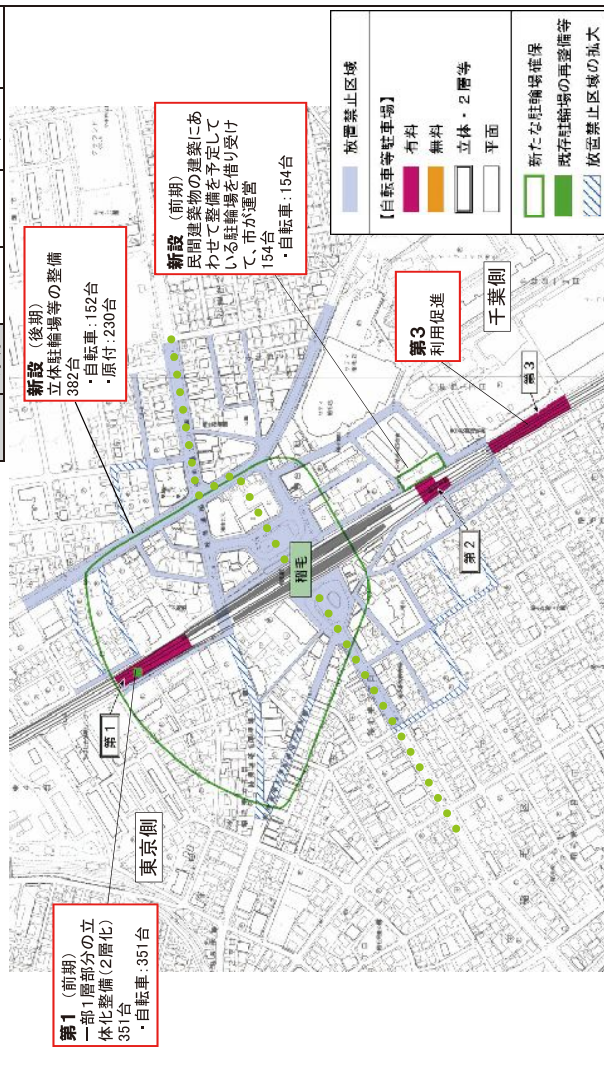
【需要推計】  
稲毛駅周辺では、稲毛北地区の土地区画整理事業などの影響もあり、計画目標年次(平成27年)の推計乗入台数は5,577台と増加している。これに対して現在の収容台数は5,465台と駅全体としては著しく不足してはいるものの、駅からブロックにおける収容台数が不足していることを見込んでいる。

計画期間(H27)の伸び率		全体		東京側		千葉側	
自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
1.03	1.02	1.03	1.02	1.03	1.02	1.03	1.02

【整備計画】

東京側での収容台数の不足が見込まれることから、当面は千葉側の第3駐輪場に自転車等の利用者を誘導しつつ、第1駐輪場を2層化し、駐輪場を1箇所新設して対応する。  
また、自転車等の放置の実態を踏まえて、放置禁止区域を拡大する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
計	自転車	計	原付	計	原付	計	原付	計	原付	計	原付
5,424	4,428	5,424	4,428	1.03	4,510	1.03	4,510	5,577	4,565	5,465	4,510
996	864	996	864	1.02	955	1.02	955	1,016	955	1,016	955



東京側		千葉側		全体	
乗入台数	推計台数	乗入台数	推計台数	乗入台数	推計台数
計	3,476	1,948	2,004	5,424	5,577
自転車	2,721	1,948	2,004	4,428	4,565
原付	755	241	246	996	1,016

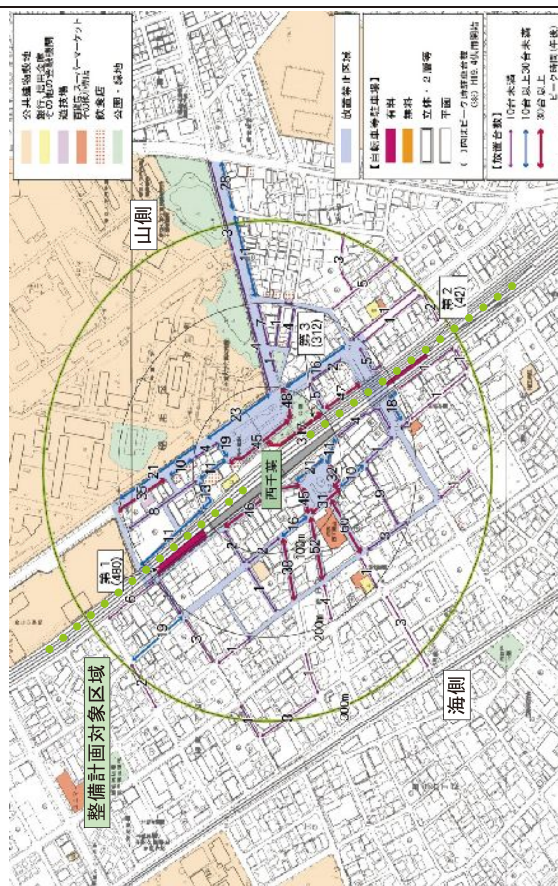
駅口 駐輪場		整備手法		整備時期		主体	
現況(原付)	整備(原付)	現況(原付)	整備(原付)	前期	後期	JR	民間
2,840	5,400	351	0	540	540	市	市
2,840	5,400	351	0	540	540	市	市
825	1,115	733	230	770	770	市	市
825	1,115	733	230	770	770	市	市
1,800	3,000	154	0	154	0	民間	民間
2,625	4,115	154	0	154	0	民間	民間
5,465	9,555	887	230	6,352	1,185		

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者  
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

JR総武本線  
西千葉駅  
【現況】

西千葉駅は、1日平均乗車人員が約2万5千人、自転車等の乗入台数は約2,000台である。  
駐輪場は海側に2箇所、山側に3箇所設置しており、収容台数は3,245台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数	
測定日：平成18年10月30日	計	駐車	放置
図はピーク時の台数を示している。	3,245	831	1,138
	3,075	760	1,088
	170	71	50
	3,245	831	1,138
	3,075	760	1,088
	170	71	50



海側	乗入台数		山側		収容台数	
	計	自転車	計	自転車	放置	収容
計	712	258	1,257	573	684	1,875
自転車	661	227	1,187	533	654	1,780
原付	51	31	70	40	30	95

参考データ	1日平均乗車人員(H17)		交通分担率		バス		タクシー		その他	
	乗入	乗下	JR	その他	乗入	乗下	乗入	乗下	乗入	乗下
乗入台数	24,736	24,736	83.0%	16.9%	6.9%	7.8%	0.4%	1.8%	0.4%	1.8%

【需要推計】

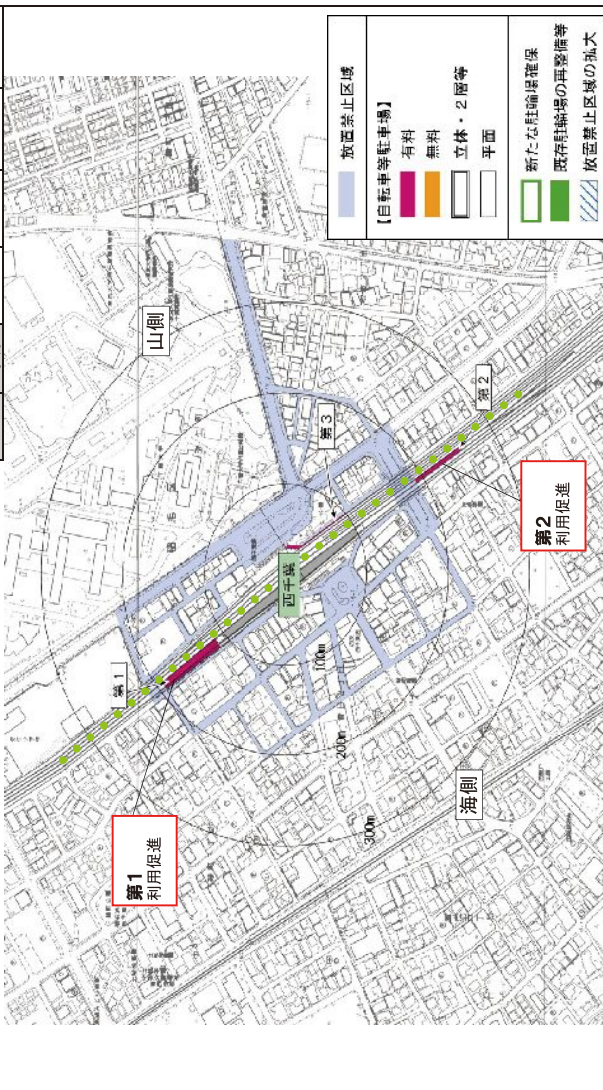
西千葉駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は1,941台と推計しており、現在の収容台数は3,245台を確保していることから、既に充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体		海側		山側	
	自乗車	原付	自乗車	原付	自乗車	原付
	0.99	0.93	0.99	0.93	0.99	0.93

【整備計画】

収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
計	自乗車	原付	計	自乗車	原付	計	自乗車	原付	計	自乗車	原付
1,941	1,848	121	1,969	1,848	121	0.99	1,941	1,848	170	1,848	170



海側	乗入台数		山側		収容台数	
	計	自転車	計	自転車	放置	収容
計	712	258	1,257	573	684	1,875
自転車	661	227	1,187	533	654	1,780
原付	51	31	70	40	30	95

駅	整備内容		整備手法		整備時期		主体	
	乗入	乗下	整備	時期	整備	時期	整備	時期
海側	1,941	1,848	1,941	1,848	1,941	1,848	1,941	1,848

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者  
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

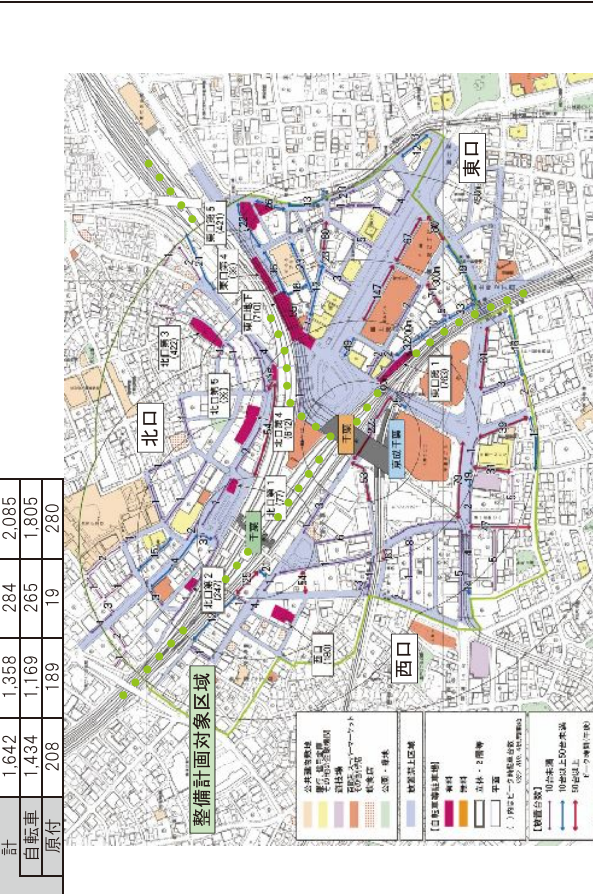
千葉駅

【現況】千葉駅は、JR線・京成線・モノレールが乗り入れ、1日平均乗車人員は計約12万5千人と市内で最も多く、自転車等の乗入れ台数が5,603台と最も多い。駅前には、西口に1か所、東口に4か所、北口に5か所設置しており、収容台数は4,520台となっている。

【駅乗車数・放置台数】

測定日：平成18年10月30日  
図はピーク時の台数を示している。

	乗入		乗出		放置	
	乗入台数	乗出台数	乗入台数	乗出台数	台数	台数
北口	1,642	1,358	284	2,085	2,148	4,520
計	1,642	1,358	284	2,085	2,148	4,520
自転車	1,434	1,169	265	1,805	1,907	3,917
原付	208	189	19	280	407	603



【整備計画】

駅	収容台数	自転車	原付	その他
西口	1,048	180	868	400
計	1,048	180	868	400
自転車	940	151	789	360
原付	108	29	79	40

【参考データ】

駅利用状況 1日平均乗車人員(H17)  
JR 103,401人/日  
京成 11,009人/日  
モノレール 10,344人/日 (H18千葉市統計書)

交通分担率 徒歩 自転車等 バス タクシー その他  
JR 75.8% 4.9% 15.1% 1.1% 3.1%  
京成 88.6% 1.0% 8.5% 1.0% 0.9%  
モノレール - - - - -

【需要推計】千葉駅周辺では、西口への自転車等の乗入れ台数が1,18よりも大きくなり、駅全体でも1,07と市の平均1,05よりも高くなる。計画目標年次(平成27年)の乗入れ台数は5,997台と推計しており、現在の収容台数4,520台から約1,500台不足する見込みである。なお、駅別では、北口が既に充足しているのに対して、西口で821台、東口で1,043台の不足を見込んでいる。

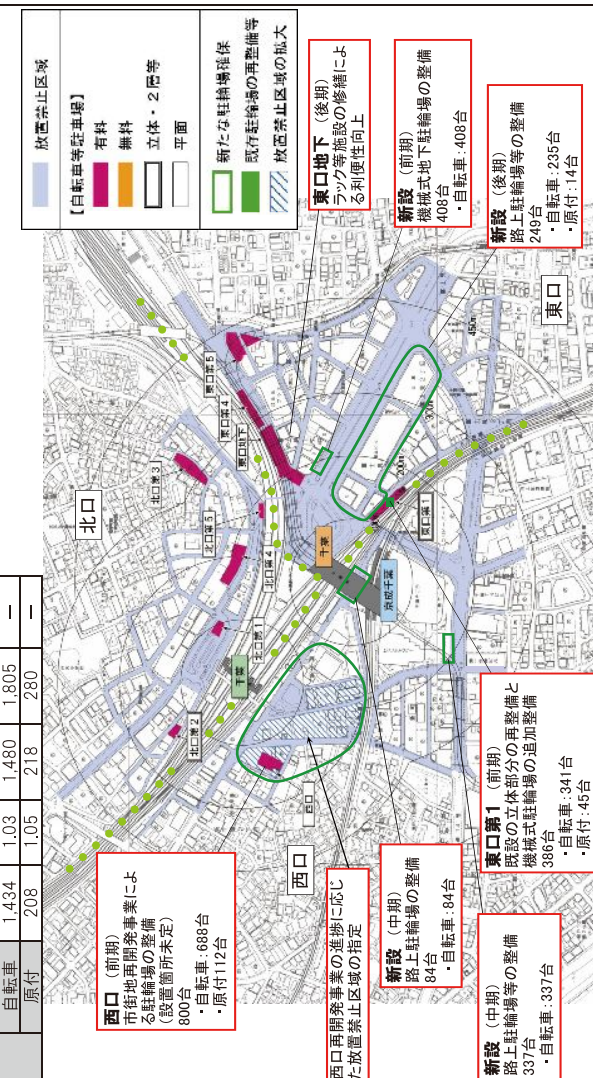
計画期間(H27)の伸び率	全体		北口		東口	
	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車
伸び率	1.03	1.05	1.03	1.05	1.04	1.06
原付	1,18	1,04	1,18	1,04	1,04	1,03
自転車	1,06	1,03	1,06	1,03	1,06	1,03

【整備計画】

北口では、収容台数の不足が見込まれないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。西口では、収容台数が不足していることから、市街地再開発事業による立体駐輪場の新設や路上駐輪場の新設や東口第1駐輪場の立体化整備等により対応する。東口では、収容台数が不足していることから、機械式地下駐輪場の新設や東口第1駐輪場の立体化整備等により対応する。

【整備計画】

駅	乗入台数	乗出台数	推計台数	収容台数	不足台数
北口	1,642	1,358	1,638	2,085	-
計	1,642	1,358	1,638	2,085	-
自転車	1,434	1,169	1,480	1,805	-
原付	208	189	218	280	-



【整備計画】

駅	乗入台数	乗出台数	推計台数	収容台数	不足台数
西口	1,048	940	1,221	400	821
計	1,048	940	1,221	400	821
自転車	940	1,181	1,109	360	749
原付	108	1,041	112	40	72

【整備計画】

駅	乗入台数	乗出台数	推計台数	収容台数	不足台数	整備時期	主体
西口	1,048	940	1,221	400	821	中期	市
計	1,048	940	1,221	400	821	中期	市
自転車	940	1,181	1,109	360	749	中期	市
原付	108	1,041	112	40	72	前期	市

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 長：個人または民間事業者  
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26、27